

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 10月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		全体を見守れるように人数の調整をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	教室内で死角がないように職員を配置している。	お子さまの人数と指導員の人数に差があり不足を感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		部屋が分かれており、落ち着いて過ごす部屋、活動部屋などが分かれている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		個室が多く存在するため、お子さまの様子によって、利用が来ている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		気持ちを落ち着かせられる環境を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		朝会や終礼時に確認し、お子さまに応じた支援が出来るよう配慮している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様からご意見がいただけるよう、実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝会や終礼で、職員同士の支援の確認を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		内部監査を実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		施設内でオンライン研修を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		プログラムを作成し、HP上で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		送迎時などにお子さまの様子を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		定期的に会議を行い、お子さまの様子を確認しながら対応を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		定期的に会議を行い、共有の場を設けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		個別支援計画に盛り込み、お子さまの発達状況に応じて取り組んでいる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		保護者様や関係機関と必要な情報を確認しながら、対応を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		休日プログラムについては、教室内で話し合ったものに取り組みを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		5領域に沿った支援が出来るように配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		お子さまの様に合わせて部屋を区切りながら対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝会を行っており、当日の職員の動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼で当日の様子を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		お子さまについて毎回記録を記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		内部監査を実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		お子さまの様に応じて、基本活動を選択出来るようにしています。1つのことだけでなく、全身運動や指先の不器用さのカバー、集中してお話を聞く時間などを組み合わせながら対応をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		公共施設へお出かけをする活動については、いくつか選択肢を出したうえで、お子さまが行きたい場所を選択出来るようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達管理責任者がお子さまの様子を確認しながら対応をしている。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	担当者会議などの際に、状況に応じてお伝えすることがある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		トラブル時はすぐに学校へも共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	相手方や就学先と確認しながら、対応をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		必要に応じてお伝えすることがある。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		現在は関わりは多くありませんが、状況に応じて関わりを増やしていければと思っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	児童館で地域のお子さまと交流できる場を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		状況に応じて参加が出来るようにしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	送迎時に保護者様と確認をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	子育てサポートで、支援の様子を見ていただきながら、お子さまとの関わりについてお話をさせていただくことがある。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にお伝えしている。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画更新時に対応をしている。更新時以外でも、保護者様やお子さまの様子によって対応をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者様に説明し、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡アプリを使用しながら対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5		父母の会は行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情があった際には、適切に対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		HP内のブログなどを活用し、教室での取り組みをお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫に個人情報の物を保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		連絡アプリを活用したり、送迎の際などに保護者様の方とやり取りを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		現状は行っていないが、納涼祭などのイベントがある際には、地域の方も参加出来るようにしている。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、変更があった際には、保護者様の方にお伝えしている。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		月に1回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者様にアレルギーの確認をしており、必要に応じてエビペンの持参をお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時にアレルギーについて確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		作成し、閲覧ファイルに格納している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		閲覧ファイルに格納し、誰でも見ることが出来るようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		朝会や終礼時にちょっとしたこどもで、共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		チェックリストを活用した研修を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		身体保護の同意書をいただき、行った際は、保護者様へフィードバックしている。	